

■基礎データ

タイトル	緊急地震速報を聞いたときの「身を守る行動」を学ぼう
ねらい	1. 地震で起きる危険を知り、緊急地震速報を聞いたときの対応の仕方を知る。
(学習目標)	2. 緊急地震速報を聞いて、様々な場所で身を守る行動ができる。
対象学年	小学部高学年
教科・イベント等	事前学習(総合的な学習・特別活動)
学習形態	全員(授業)・グループ 計45分
準備	授業用スライド(低学年用)、大型ディスプレイ、ノートパソコン、パワーポイント、段
	ボール製のロッカー、訓練用音源(※緊急地震速報チャイム音入手方法を参照)など

■学習の流れ

構成・学習活動の内容	指導上の留意点(主な発問と子どもへの援助)		
導入 (5 分)			
1. 地震と緊急地震速報	 ・様々な場所で地震が起きたときの危険ポイントを知る。 ・緊急地震速報を聞いたときの身を守る行動について知る。 ・実際に身を守る行動を取ろう。 ※パワーポイントに活動内容を提示し、本時の見通しがもてるようにする。 ※地震に対する恐怖心を軽減するような言葉掛けを行う。 		
展開1(30分)			
2. 地震の際の三つの危険「物が落ち	・地震が起きるとどのような被害が出るかを知る。		
てくる・倒れる・動く」を知る	(教室、廊下、階段、体育館、図書室、トイレ)		
	※地震の被害を分かりやすくするため、地震前と地震後の写真や動画を見せる。 ※大地震が起きると建物などが崩れたり、立っていられないほどの大きな揺れが起こることを理解させる。 ※段ボール製のロッカー当を使い「①物が落ちる②物か倒れる③物が動く」を理解させる。		
3. 地震が起きたときの行動につい	・緊急地震速報のチャイム音について知る。		
て知る	※地震が来ることを事前に知らせてくれる音があることを理解させる。※チャイム音を聞いたことがあるかどうか尋ねる。※緊急地震速報の音を2種類(NHK チャイム音、携帯電話)流す。※音に対して配慮が必要な児童には、音量を小さくして聞かせる。		
	・三つの危険を理解して、身近な場所での身の守り方を知る。 ※教室にいるときの身の守り方を理解させる。 ※スライドや副教材「頭だね」動画を見て、教室以外の様々な場所での身を守る行動 を理解させる。(教室、廊下、階段、体育館、図書室、トイレ) ※学校探検をしながら、その場で身を守る行動をとらせ、地震による危険と身を守る 行動の理解を深める。		
4. 身を守る行動を実践する	・机がない状態での身の守り方を知る。		
	・「だんごむし」のポーズを知る。		
	※近くに机がないときには、その場で頭を守ることを強調する。		
まとめ (1分)			
5. 振り返り	・授業用スライドにより学習を振り返りながら、身を守る行動を復習する。 ※地震が起きた時の危険なことを確認する。 ※地震はいつ起きるか分からないことを伝え、緊急地震速報を聞いたときや強い揺れが襲ってきたときには机の下にもぐる、机がないときは「だんごむし」のポーズを取ることを伝える。		

地震防災教育プログラム ステップ1 事前学習・学習指導案(小学部高学年)



■評価ポイント

- 1 緊急地震速報のチャイム音を理解しているか
- 2 強い揺れや緊急地震速報を聞いた時、どのような行動をとらなくてはいけないかを理解しているか
- 3 自分の判断で危険を回避し、自分の判断で行動することが理解できたか

■特記事項

・効果測定を行う場合、指導前後に事前事後評価のためのアンケート「地震アンケート」を記入させ確認する

【緊急地震速報チャイム音入手方法】

- ・「緊急地震速報の受信時の報知音の音源提供について」緊急地震速報利用者協議会 http://www.eewrk.org/eewrk_hochi-on/eewrk_hochi-on.html
- 「緊急地震速報の入手方法について」気象庁 https://www.data.jma.go.jp/svd/eew/data/nc/katsuyou/receive.html